



夏季手当 2.3ヶ月に対する

座談会に参加した組合員の声だ!

- 早すぎる回答だ。会社はJR東労組が妥結しないことを前提に早く回答したのではないか。会社回答は根拠ある 3.0 か月の要求に答えていない。
- 2.3 か月の根拠がわからない。2.0 か月より良かったと言われても納得できない。コロナに対する手当についても答えていない。せめて黒字になった時には出すと約束を取り付けるべきだ。
- 職場には「まあまあ」という声がある。しかし、この声は昨年の 2.0 か月で叩きのめされた故の声である。だれも 2.3 か月で満足しているわけではない。
- 2.0 か月は衝撃的であった。それよりは良いのかもしれないが満足できる額ではない。再申し入れを行うべきだ。
- 手当は国際情勢で支給するべきものではない。赤字ではあるがみんなで頑張っここまで回復させてきたのに会社は冷たい。誠意が感じられない。出してやる感が強すぎる。
- 定期昇給のカット分が戻ってきていない。係数 2 は何年かけても絶対に取り戻すべきだ。結果ではない。会社とたたかう姿勢を示すべきだ。
- 再申し入れしかない。結果がどうあれ、会社に納得いく根拠を示させるべきだ。
- 黒字の時だって抑えられた。結果ではない。会社に私たちの意見を伝えてほしい。そして、黒字になったら元に戻す確約を取るべき。